令和８年１０月　園だより　第７号

# Second Home



社会福祉法人ちとせ交友会
カナダこども園

朝・夕と涼しい日も増え、秋への移り変わりを感じるようになりました。「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」･･･etc。みなさんは、どんな【秋】を満喫されていますか？

園では、「食欲の秋」で、いろんなクッキングを楽しみました。ピザにクッキー、バナナジュースにかき氷。これらは「物と関わるあそび」の１つですが、【食べることは生きること】とよく言いますが、子ども達のイキイキとした顔が見られた活動でした。

「スポーツの秋」では、９月には０・１歳児のふれあい参観日、そして２歳児のプチ運動会を行いました。１０月１０日（土）には、３・４・５歳児の運動会もあります！かけっこにリレー、バルーンにマーチング。どの競技も初めはドキドキ不安そうにしていたお子様も、今では自信もついて楽しそうです✨

**【１０月　教育・保育目標】**

**〇保育者を通して友達の存在に気づいたり、やりとりをして遊んだりする。（３未）**
**〇保育者や友達と一緒に、身体を動かして遊ぶことを楽しむ。**
**〇散歩や園外保育に出かけ、秋の自然に親しむ。**

ホームページはこちら

Instagram はこちら

## 「最幸な子育て」貸し出し中！




カナダこども園でも、5冊の本を貸し出ししています！
職員にも配布しており、私たちが学んでいる構成論に基づく保育実践の研修でも使用しました。
事務所で貸し出しをしていますので、読んでみようかな？と興味がある方は、ぜひお声かけください♬

〇1家庭2週間程度
〇返却時に簡単な感想

をお願いしています！子育てをもっと楽しんでもらいたい！という統括園長の想いが込められた１冊になっています。

# カード・ボードゲームのすすめ

カナダこども園では、2歳児後半（冬くらい）から、カード・ボードゲームに取り組んでいます。

**【カード・ボードゲームとは？？】**

・クッキングなどの物と関わる遊びと違って、人と関わるあそびである集団あそびの中の1つです。

・集団あそびはなぜいいのか？？

① 人とする遊びである。1人では出来ない。

② ルールやあそび方を守らないといけない。

③ 身体を動かす集団ゲームのように、「誰かが動いたから一緒に動く」と、人を見て行動することができず、自分で理解し、自分で考えてする必要があり、自律に大きく繋がる。

④ 勝ち負けがあることで、勝つためにはどうしたらいいかを考える機会になる。
そして、その考える機会が、「自己中心性」から、他者の視点にも立つ「脱中心化」へと進んでいく。

ただし、発達過程は子どもによってさまざま。園では、子どもの発達に合わせて、友達同士だけでなく先生としたり、カードの枚数を減らしたりと、工夫しています。遊びの一部を紹介しましょう♫

**りんごゲーム**

・木になったりんごを、カードに描かれた絵と同じ数だけ取るゲームで、2～3歳で楽しめます。
数唱は出来るけど、数の概念は…という段階の子ども達にとって、遊びながら数の理解をしていけるゲームです！
数の理解は、年齢+1～2と言われています。今の2歳児さんも、3までは取れても4は難しい…と子どもの発達がクッキリ見えて楽しいですよ✨

**2歳後半～4歳で親しむゲーム**

○絵ドミノ　○動物ラミー　○ブリンク
○ウノ　○ゴーフィッシュ
○りんごゲーム
○5並べ（1～5の昇順）（5～1の降順）
○うさぎのニーノ　○三目並べ　などなど

**4～5歳で親しむゲーム**

○家族合わせ　○こぶたの銀行　○クロッシング
○タパタン　○7並べ（4中心）　○10並べ（5中心）
○スパイダー　○カルテット　○アメリカ将棋
○ラットアンドキャット　○マンカラ　○数字三目
○スネイク　などなど、まだまだたくさんあります！！

**数字三目**

・リングを動かして2つの数の和のマスにチップを置き、先に3つ縦・斜め・横のいずれか1つ直線で揃えれた方の勝ち！
5歳児で楽しむゲームです。たし算が入ったゲームなのでとっても難しいですが、ここに至るまでに様々な数に関するゲームを、子どもの発達や姿に合わせて段階的に楽しんでいきます！

一般的に知られているゲームも、園では子どもがより考えるためにルールやあそび方を変えています。
家庭で楽しめるゲームは、これ以外にもたくさんあります！ぜひ、週に1回でも、ババ抜きでもOK✨なので、家族でカード・ボードゲームを楽しんでみましょう！家族のコミュニケーションの面でも、情緒コントロールの面でもオススメです！そして、この幼少期の日々の小さな積み重ねが、将来にも繋がっていきますよ！（園のゲームが得意で、算数大好き！理数系大学に進んだお子様を何人も見てきました！）